

JR東海が公表した地元駅付近のルート

- 豊丘村はトンネル通過、駅は地上で上郷飯沼に -



第632号
 発行人 ● 豊丘村公民館 唐澤克己
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館 編集委員会
 0265-35-9066
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村
 (10月1日現在 ※外国人を含む)
 男女 3,430人
 3,535人
 総人口 6,965人
 世帯数 2,062戸

東京-名古屋間40分、近隣に駅が

— JR東海がリニア中央新幹線のルートと駅の位置を公表

夢の超特急に期待と不安

— JR東海の公表を受け、村民に意見聴取

JR東海は、九月十八日に、二〇二七年に東京-名古屋間で開業予定のリニア中央新幹線のルートと駅の位置を公表しました。騒音などに配慮し、ルートは、全長約二八六kmのうち、八六％が地下やトンネルになります。東京-名古屋間を最速四〇分でつなぎ、中間に四駅設置されます。飯伊地区にも、飯田市上郷飯沼に地上駅ができる見通しです。営業開始になれば、駅ができる飯伊地区には、様々な意味で大きな変化が起こりそうです。

館報では、この機に、何名かの村民の方々に意見や感想をお聴きしました。

騒音に気が配
 壬生沢 五十代女性

工事で排出される残土を安易に受け入れないでほしい。谷を埋めても地すべりや崩落が心配。村は住民を守る対応をしてほしい。

百年先の未来を
 伴野 七十代男性

リニアの駅は最初の計画通り高森にし、高速道とのアクセス、駅周辺の開発を考えると、百年先の未来を考えてほしかった。

心配だ
 河野 五十代女性

音や電磁波のことが気になる。喬木村へ寄ってしまった。豊丘はトンネルばかりで、工事車両の通行や残土処理が心配。期待することばかりはない。

村人が
 河野 中学生男子

通行手段が増えて、いろんな所に行けるようになった。

複雑な気持ち
 田村 高校生男子

リニアは確かに「夢」のあるものだと思うが、電磁波の影響やストロー効果などに不安もあるので、近くを通るのは複雑な気持ちだ。

ありがた
 田村 二十代女性

東京に出かけることが多いので、便利になりありがたい。更に観光客などで地域の活性化が期待できる。

マイナス面が
 田村 八十代男性

プラス面よりマイナス面が気になる。残土処理、地下水の枯渇など自然の破壊等々の急速な変化に住民生活の異変など。

おもしろ
 河野 六十代男性

リニア賛否を文化発信の

水質まで心配も
 伴野 七十代女性

今まで億測の中でした。現実化した今、村の水質や農作物等、生活に関する不安があります。世紀の夢も見たい。

つづも心配
 河野 中学生女子

リニアモーターカーが通ると東京とかまで短時間でいけるので、とても便利だと思います。

大賛成
 河野 四十代女性

リニアができることは大賛成！ 値段が新幹線と千円ぐらいしか変わらないのならば乗りたい。

人の顔も
 壬生沢 中学生女子

開通はずっと将来の話なので友達との間で話題になることはない。旅行しやすくなるが、かえって人口が減少することもあるのではないかな。

興味はあるが
 河野 三十代男性

リニアには興味はあるが、実際にできてどうなるかと思っている。



リニア新幹線の東京-名古屋間ルート
 アツという間に名古屋や東京に着いてしまうんですね。

段丘

国政選挙で大勝した自民党のスローガンは「日本を取り戻す」だった。いつの時点かは明確ではないが、古き良き時代に戻りたいということだろう。山間地には荒廃した農地が数多くある。狭小な条件がよくない土地だが、戦後の食糧難時代には大勢の人を助けた。そんな時代の再来は二免だが、村内でいま耕作されている農地については住環境や産業のバランスを取るためにも、減少のスピードを緩やかにする必要がある▼しかし実際には山間地の農地の減少は急激に進んでいる。その原因は高齢化や後継者不足などが、鳥獣による被害も拍車をかけている。そこで村は平成二三年から二年間で、人里にシカやイノシシが下りてこないよう、喬木村から松川町の境まで二四・三キロにわたって獣害対策防護柵を設置した▼総工費は一億三二四九万円。このうち三八五〇万円は「東日本大震災農業生産対策交付金」として国からもらったお金である。本来被災地の皆さんがかつての故郷のありようを少しでも取り戻すために使われるべき予算が、なぜ遠く離れた信州の地に振り分けられたのかはわからない。関係のない予算をいたいだって作ったこの柵が被災地復興のお役に立つことはないだろう。ならば被災地に何ができるのか。恥じ入りながら考える。

(壬生雅穂)

すべては野球界の発展のために

四季大学で松原事務局長の熱き心に感動

とよおか四季大学秋季講座が、九月二十一日に役場で開催されました。今回の特別講師は、日本プロ野球選手会の松原徹事務局長で、演題は「日本のプロ野球あれこれ」でした。講演をお聴きする中で、それぞれの選手の人柄や人間性までも知ることができ、プロ野球がますます身近なものになりました。また、選手会の選手たちが団結して行動するのは、ひとえにプロ野球の未来を考えてのことであり、松原事務局長が選手会を支える背景には、野球界の発展を願う熱き思いがあることも理解でき、まことに中身の濃い講演でした。

子供たちに夢を与えるプロ野球に

林里 片桐雅博

前回に引き続き、丸山先生と松原さんの話を聴かせて頂きました。まあとにかくおもしろかったですね。懇親会もまた最高でした。私も労働組合の委員長を務めたことがあり、リストウの様な事案で会社と交渉した経験もあります。しかし、終身雇用のサラリーマン

野球振興の面でも、選手会は頑張っていることがよく分かりました。オリビック種目に復帰するためにも海外で普及活動を行なって

と基本一年契約のプロ野球選手ではまるで違いますし、お話の中でもやはり厳しい世界であるということに十分に感じました。

二〇〇四年の再編問題のときの、古田会長の野球に対する真摯な思いや、ライターのシンプを熱く語って頂き、何度聞いても涙が出そうになります。現在の野球界はあのときの選手会に守られていると思っています。

災直後なのにセ・リーグ開幕を強行しようとしたこと。WBCでアメリカの言いなりになってしまったこと。など、目先のことしか見えないんですね。そんなことはわかっているよと、ファンに見放されますよと、加藤さんとあのオーナーに言ってもらいたいです。

選手会の活動に比べて、コミッションやオーナー会はともお粗末のようです。「飛ぶボール」に変更したのに隠していたこと。震



熱き思いに受講者の心も動き

まちづくり交流センター 建設工事順調、愛称も募集

村の新しい公民館や図書館になる「まちづくり交流センター(社会教育施設)」の建設工事が、順調に進んでいます。現場にはクレーンなど工事用の大型重機が入り、毎日力強い音を響かせており、敷地の基礎固めを行なっています。建物は今年度中に完成の予定で、来年度には新しい施設で活動ができる見通しです。新しい施設

設になれば、使い勝手がよくなることはもちろんですが、新しい利用法を考える余地も出てきます。村民の皆様におかれましては、あ

れこれ利用法を考えてみてはいかがでしょうか。ところで、新しい施設には、村民の皆様が親しんでいただく「愛称」がぜひとも必要です。そこで、色々な面

(公民館 唐澤克己)



大型クレーンが効率的に使用され工事が加速します

章平先生の

出会い、こぼれ話 ④

— シーツ・そつとしとびて —

毛 涯 章 平

私が現職中、ある日の午後、同僚のS氏が私の教室を訪れた。S氏は不思議に思っ

をしているのだから」と、S氏はしきりに感じ入って後で話してくれました。私は彼の話聞きながら、午後の時間に一人の子が机にうつ伏して眠ってしまった。そこでみんなで、そつとそくようと言って授業を続けたことがあった。子どもたちは、それを覚えていて、「今日は先生が疲れている」と見てとったのかもしれない。

笑いの連続、気分爽快

— 180名が夢之助師匠の落語を堪能

九月二十九日に保健センターで、三笑夢之助師匠を招き、村の文化事業である「とよおか寄席」が盛大に開催されました。一八〇名の観客の方々は、笑い、笑いの連続で、久しぶりに生の落語の魅力堪能しました。当日は、桂翔丸、立川志の吉のお二人も来村し、前座をつとめました。おかげさまで、のどかな秋の好日に、気分をリフレッシュすることができました。また、この機に因み、文化事業実行委員長の壬生一さんに、記事を寄せていただきました。紙面の関係上、記事は前半と後半に分け、後半は次号(十一月号)に掲載いたします。

感謝(その一)

実行委員長 壬生 一

豊丘村をはじめ、皆様には大変お世話になります。今回は文化事業における経緯をご紹介します。この事業は、中央に集中しがちな音楽や芸能を、豊丘村で生で感じられるように、との思いをもとにスタートしました。

一九九九年(平成十一年)七月の「カルテットアルモニコ」の弦楽四重奏(観客数二八〇)を皮切りに、二〇〇〇年三月の同じく「カルテットアルモニコ」(観客数三四〇)、二〇〇〇年七月に「京都大学交響楽団」(観客数六五〇)、二〇〇〇年十二月に「川田正子コンサート」(観客数三〇九)、二〇〇一年十月に「東洋大学吹奏楽研究部」(観客数三二二)、二〇〇一年十二月に「カメレオンコンサート」(観客数三四二)、二〇〇二年十月に「室内音楽会」(観客数三二二)と、この年が概ね音楽と寄席を毎年交互に開催してきました。(次号に続く)



プロの落語はさすがです

『輝くしながら』『ハーモニートンボウ』

豊丘中、輝丘祭のテーマが音楽会で響く

中学校生徒会の最大の行事である輝丘祭が、九月十七日と十八日の二日にわたり行なわれました。今年のテーマは、「絆くつながら今こころ」で、互いに協力し合うことや助け合うことの大切さ、素晴らしい姿を今一度考えてみようとのことでした。ひたむきに取り組む生徒の姿に、その成果を実感しました。

笑顔あふれ

実行委員長
中島啓輔

今年度の第四十三回輝丘祭では、「絆くつながら今こころ」をテーマとして行なわれました。このテーマにした理由は、東日本大震災を経験した私達に、今できることは何だろうと考えたとき、人と人とのつながりを強くすることが大事だと考えたからです。準備の段階から、様々な場面で協力する姿が見られ、輝丘祭への意識の高まりを感じました。

こちら資料館 ③⑥ 収蔵庫の逸品② 唐箕

唐箕は、穀物を脱穀した後で、籾殻や藁屑とを風によつて選別する農具です。

中国で開発されたといわれ、十七世紀の中国の書物「天工開物」に風扇車として挿絵と共に載っています。これが十七世紀後半には日本に渡ってきています。構造や仕組みは今とほとんど変わっていません。木の箱の中に薄い板で回転式の風車を作り、外に取り付けた木製のクラック状のハンドルを回して、風を送り出す仕組みになっています。

資料館に保存されているのは、幕末から明治にかけて使われていたものです。まだ現役として十分に使えるそうです。実際にクラックを回してみると、思ったより軽々と風車が回転します。吹き出し口からは扇風機より強い風が外へ吹き出していきます。

使用の方は、上側にある漏斗のように開いた口から穀物を入れます。真下にある



唐箕 一年配の方には馴染みありです



豊丘中の伝統であるコーラスが輝丘祭を盛り上げます

今回は林校長さんの「狼煙リレー」に関する話題です。林さんには、村の「狼煙上げ」にも毎回参加していただいております。拝読いたしますと、九月七日に実施した、あの狼煙リレーの感動が、次々上がる狼煙とかの一体感が、今再び鮮やかによみがえってきます。

村民広場「今思うこと」 戦国のロマン再び

白龍が
天に昇る如く
南市場
林 皎

初秋晴れの九月七日、今年も南信三郡に跨る連携イベント「第六回武田信玄狼煙リレー」は信玄狼煙会が中心になり催され、豊丘村も三回目の参加となった。当日は景勝地豊丘村民グラウンド西下の公園に、豊丘史学会と公民館役員九名の皆さんが早朝からご苦労して軽トラ三杯の生杉の葉と藁を準備され太竹竿を三本組み立てた「三つ又」方式の狼煙台を作り点火に備えた。この企画は南信地域に築かれてきた古代の文化等を、狼煙再現を通じて後世に伝えていきたいと願ったものなのです。

た。蛇峠か極楽峠か霞んで定かでないが、程なく神之峰からも、続いて三筋ほどの新たな白煙が連携して昇った。暫時心静かに彼方の煙を眺めながら、戦国時代の重要な情報伝達手段としての意味合いを改めて実感していた。突然役員さんの携帯へ他所ポイントから昇った狼煙の照会音が鳴り、現代の情報通信の便利さについて苦笑いした私。

十五分には豊丘・高森・喬木の順番である。点火された生杉の重層葉はまるで巨大白龍が天に昇るが如くの迫力で白煙が天に沸き上がり、見事な狼煙の演出であった。ダイナミックな白煙は十分間ほどであった

が、瞬時に鎧を纏った武田軍勢が馬に跨り白煙の彼方を疾風の如く駆け抜けて行く様が臉に浮かんだ。高森の吉田古城址は対面であり、実に見応えある狼煙だった。喬木の茶臼山は山陰で眺望不能。こうして五百年前の戦国時代の歴史の一幕に

参加でき有意義な一時を過ごさせて頂きました。これこそ南信州の連携と絆であり、関係者の皆様方ありがとうございました。

来年も継続されますので関心のある方は是非の鑑賞をお勧めいたします。



戦国時代の最速の通信手段

便利さと満足感と

公民館のパソコン入門教室

日進月歩の時代といわれる現代は、次々と新しい機器が登場し、人々の生活を変えていきます。新しい機器は、その便利さゆえに、それを使うことができれば、大きな満足感にもつながっていきます。今日様々な分野で使用されているパソコンも、新しい時代を代表する機器です。

また、教室は頻繁に開いたほうが上達にはよいとのことと、月に数回の開講です。内容はワードの基本操作に始まり、今ではエクセルで家計簿のつけ方に進んでいます。

公民館には、何名かの方から、全くの初心者を対象にしたパソコン教室を開いてくれないかと、その要望にこたえ、今年八月にパソコン入門教室を開講いたしました。講師は小園の原光



学ぶ意欲があれば常に進歩が

資料館主任
岡庭易彦

御手形クラブが全勝優勝

ナイターソフトボール大会、全日程終了

四月三十日に開幕したナイターソフトボール大会が、九月二十四日に全日程を終了しました。「豊リーグ」では御手形クラブが圧倒的な強さで全勝優勝し、「丘リーグ」は壬生沢クラブが制しました。各チームの皆さん、長丁場の大会、本当にお疲れ様でした。

大会結果

にまかせた気楽なプレイスタイルなので、ずっと丘リーグでプレイしていくつもりでいました。

しかし、試合も順調に消化し、七割程度終わった時点で丘リーグ三位以内がほぼ決定的となり、どうせなら残り試合負けないように優勝を目指しました。結果、十三勝一敗二引分で優勝できました。

美味しい酒が

壬生沢クラブ

壬生真次

五月七日より始まったナイターソフトリーグ戦も無事終わり、どうにか我が壬生沢クラブが丘リーグで優勝する事ができました。

二十四年度は、〇勝十八敗と一勝もすることなく終わり、一年で丘リーグへ戻る事となりましたが、もともと我がチームは、来た人全員出場と、選手の自主性

にまかせた気楽なプレイスタイルなので、ずっと丘リーグでプレイしていくつもりでいました。

しかし、試合も順調に消化し、七割程度終わった時点で丘リーグ三位以内がほぼ決定的となり、どうせなら残り試合負けないように優勝を目指しました。結果、十三勝一敗二引分で優勝できました。

- 【豊リーグ】
- 一位 御手形クラブ
 - 二位 伴野クラブ
 - 三位 いくに会
 - 四位 オール南
 - 五位 芝クラブ
 - 六位 スピリッツ
 - 七位 北翔会南市場
 - 八位 キラーズ
 - 九位 原木門
 - 十位 ジャイアンツ
- 【丘リーグ】
- 一位 壬生沢クラブ
 - 二位 城
 - 三位 南俱樂部
 - 四位 北市場フエニックス
 - 五位 第五分館
 - 六位 河野匠
 - 七位 豊林
 - 八位 31クラブ
 - 九位 河野クラブ

~シリーズ~ 豊丘の自然

No.120

サワガニ (サワガニ科)



聞くか、参加すればすぐ分かることだが、ここは想像で書く。今月十二日に松川青年の家で実施される「サワガニ二捕り」について、問題は取った後、どうするか。

私が小学生だったから、今から六十余年も前のこと。春(三月)恒例のごへいもち会には、おこぎ(つこぎ)のおひたしと、子ども

文化祭・とよおかまつり

公民館は今年も頑張ります

お知らせ

公民館では公民館グループの皆さんの、一年の活動の成果を発表する作品展と、とよおかまつりでのステージ発表を開催します。

作品展は十一月三日から十日まで、総合福祉センター全館で写真・木目込み人形・

盆栽・植物画・絵手紙・川柳・俳句・短歌・押し花・楽趣会小中学校宅老所きずな・個人出展の作品が展示されます。丹精込めた作品の数々を是非ご覧下さい。

また、とよおかまつりの特設ステージでは、九日午前十時四十分から十日午前九時三十分からステージ発表があります。豊丘太鼓・フラダンス・カラオケ・コーラス・パッション体操・舞踊・三味線・あつるキッズ・サブニユマ・花架拳・剣道クラブの皆さんが出演します。

この機会にいろいろな公民館活動に触れていただき、来年はあなたが参加者になってみませんか。

(公民館 原まほ子)

秋空に歓声響き

10月6日、南北小で運動会



ひとしおで、盛り上がりも大きかったようです。

写真は運動会の「華」ともいえる「入場行進」で、上段が北小学校、下段が南小学校です。じっと見ていると、次代を担う子供達にエールを送りたくなります。

南北両小学校の運動会は、当初十月五日に予定されていましたが、雨の心配があったため、十月六日に延期して実施されました。両小学校の児童生徒や関係者にとっては、一日延期された分だけ実施できた感激も



南北両小学校の運動会は、当初十月五日に予定されていましたが、雨の心配があったため、十月六日に延期して実施されました。両小学校の児童生徒や関係者にとっては、一日延期された分だけ実施できた感激も

〈豊丘川柳クラブ豊柳会〉

- ▼課題「怪」互選
 - 族が群れ奇怪与党の予算案 喜寿 喜多
 - 球界の怪物マー君負け知らず 桃沢 健介
 - 童巻の怪物別島荒れ狂い 泉 久子
 - 親心さか手に取った怪電話 西元 峯子
- ▼課題「牧」互選
 - カメラ見て牧場の馬ボーズ取る 安田 喜子
 - 日本の牧場直撃PPP 林 桃子
 - 使われぬ牧場で今は鹿肥ゆる 久保ひろし
 - 牧師さまふたりに愛を誓わせる 市沢 照子
 - ▼自由吟 桃沢健介選
 - 五日後の友逝き去りてた涙 宇井恵美子
 - プレゼントで大見栄切つて大丈夫? 吉川 療
 - あと七年オリと復旧かけくらへ 福沢 勝美
 - 五輪勝ち後押しされる消費税 原 美風
 - 軸吟:台風が狙つた京の嵐山

俳句 短歌

- 納棺の妹に故郷の大きな花火
雲はやし五合富士の初紅葉
亦まんま石橋に添ふ水の音
風走る稲穂たわわに峽耀ふ
朝寒や一番に見る死亡欄
一足を入るるや露のこぼれ落つ
道草の強く生きんごに秋
逝く人に明日をも知らず秋の蟬
夏草は観音様と背くらへ
天童へ胸まで漬かり鮎の竿
- 中山 寿子
北原 昭子
磯部セツ子
田中 静
竹村 茜
片桐 洋子
三島 保子
三島 里子
木下 眞水
和地 睦夫
- 公民館短歌会
籠に飼うくわがたの死す少年に思い出くつも残し夏ゆく
毛涯百合子
- 民宿のあるじ三線弾き語る守宮も鳴き出す夜の更けるまで
大倉 知江
- 収穫を無事に終えよと願いに集落襲う強き雨風
松下 泰見
- 朝早く健やかなれと散歩するチロロチロロの虫の音聞きつ
中島 一彦
- 亡き夫の施餓鬼供養に詣でいて多き僧侶の洗鉢身に沁む
壬生 千春
- 舞い下りた玉虫色のがねむし一期(会)を記し飛び行く
北沢 秀子
- なげない妻の言葉に拘りて萱の盆奠座時かけて編む
富永 博道
- 八日念
百万の花咲くコスモスのゲレンデにリフトで登る風心地よく
紅 梅
- あら風にあおらる胡瓜のやぶのなか葉かけにみゆる二、三本採る
織田 大原
- 停電のしらせが田なかをわけめぐる空事めきつバイク走らす
河原 梨花
- 高速道を始めて走る孫娘に追越し車線走らぬようにと
松島 八重